

ユーロ圏金融政策（2023年7月）

今後の政策は純粋にデータ次第で、利上げも据え置きも

2023年7月28日

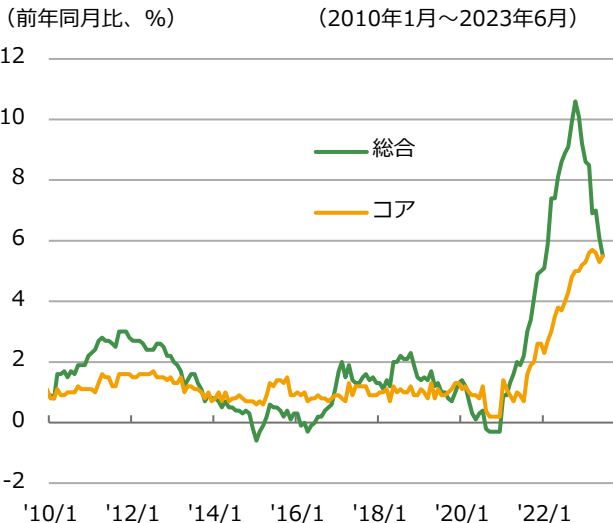
インフレ率が順調に低下しなければ9月も利上げか

ECB（欧州中央銀行）は7月27日（現地）の理事会で、「予告」通り0.25%ポイントの利上げを全会一致で決定し、中銀預金金利（銀行がECBに所要準備を上回って資金を預け入れる際の金利）を3.75%、主要リファイナンス（1週間の資金供給オペ）金利を4.25%としました。昨年7月の利上げ開始から9会合連続の利上げで、中銀預金金利は2000年10月から2001年5月までと並び、1999年のユーロ発足来最高に達しました。従来同様、インフレがあまりにも長きに亘り高過ぎる状況が続くとの見通しに基づく決定です。

ラガルド総裁は理事会後の記者会見で、今後の金融政策についてはデータ次第であることを繰り返し強調しました。これまでも声明文にはデータ次第の方針が記されていましたが、総裁は利上げ途上であることを明言したり、次会合の利上げを実質的に予告するなど、実情は必ずしもそうではありませんでした。しかし、次回9月は利上げも据え置きもあり得ると述べるなど、方針を今後のデータに委ねる姿勢です。これらの結果は概ね市場予想通りであったと思われませんが、利上げバイアスが完全に消失したためか、欧州の債券利回りはやや低下、株価は大幅に上昇、ユーロは大幅に下落してこの日の取引を終えました。

もっとも、「インフレ率の低下は十分でない」、「利上げの影響が実体経済へはまだあまり反映されていない」、「ECBは2%の物価目標達成への決意で一致している」などのラガルド総裁の発言には金融引き締め意向が見え隠れします。インフレ率が順調に低下しなければ、9月も追加利上げが想定されます。

ユーロ圏の消費者物価指数



※コアは食品・エネルギー・アルコール・タバコを除く系列
(出所) リフィニティブ

ユーロ圏の金利と為替



※中銀預金金利は発表日ベース
(出所) ブルームバーグ

当資料のお取扱いにおけるご注意

- 当資料は投資判断の参考となる情報提供を目的として大和アセットマネジメント株式会社が作成したものであり、勧誘を目的としたものではありません。投資信託のお申込みにあたっては、販売会社よりお渡しする「投資信託説明書(交付目論見書)」の内容を必ずご確認ください。
- 当資料は信頼できると考えられる情報源から作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。運用実績などの記載内容は過去の実績であり、将来の成果を示唆・保証するものではありません。記載内容は資料作成時点のものであり、予告なく変更されることがあります。また、記載する指数・統計資料等の知的所有権、その他一切の権利はその発行者および許諾者に帰属します。
- 当資料の中で個別企業名が記載されている場合、それらはあくまでも参考のために掲載したものであり、各企業の推奨を目的とするものではありません。また、ファンドに今後組み入れることを、示唆・保証するものではありません。